



幸せ育む ひと・まちづくり

次の10年、そして100年の節目へ向かって



社会福祉法人
鹿児島市社会事業協会



協会の未来に向けて

社会事業協会は、平成30年に創立90周年という大きな節目を迎えました。次の10年は、今まで以上に少子高齢化が進み、児童福祉事業を中心に運営している当協会を取り巻く状況は、より厳しさを増してくるものと考えます。

当協会としては、今後とも社会環境の変化を的確にとらえながら、社会福祉法人としての果たすべき役割と責任を自覚し、確固たる財政基盤の下で、利用者の方々に信頼される良質な福祉サービスを提供するとともに、地域に開かれた福祉施設として子育て支援などの社会貢献活動にも積極的に取り組みます。また、それを支えてくれる職員一人ひとりを大切に育成し、やる気と働きがいをもって仕事ができる職場環境づくりにも努めます。

そして、これまで当協会が培った歴史と伝統を継続しさらに発展させ、未来にしっかりと繋いでいくために、チャレンジを続けてまいります。

鹿児島市社会事業協会 理事長

content

組織概要・・・02	フォトギャラリー・・・12
事業概要・・・03	メッセージ・・・13
協会のあゆみ・・・09	施設分布図・・・14



設立

昭和3(1928)年11月23日 鹿児島市社会事業協会設立
 昭和27(1952)年5月17日 社会福祉法人鹿児島市社会事業協会に組織変更

目的

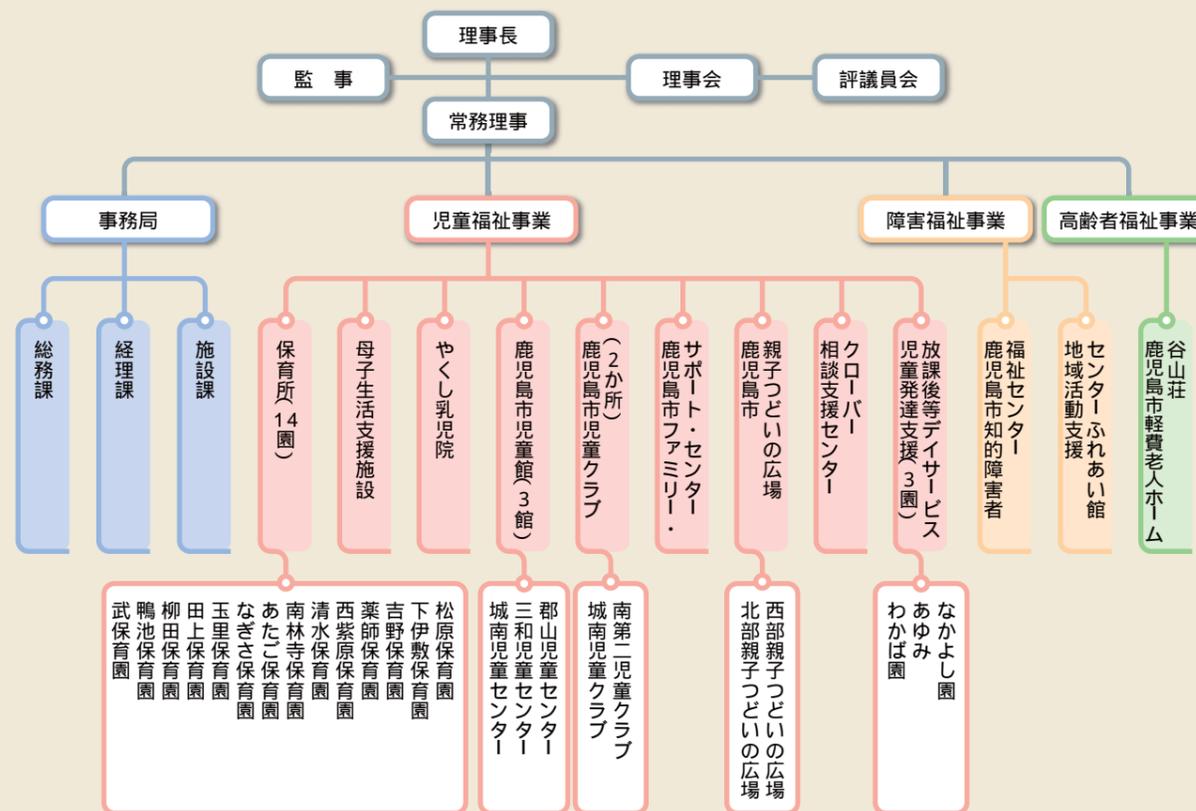
多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じ自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的としています。

経営目標

福祉を取り巻く状況の変化に的確に対応しながら、当協会の役割や事業の特性、これまでの実績を踏まえ、次のことを経営の目標として、適正かつ効率的な健全経営を推進してまいります。

- 1, 優しさと温かみのある福祉を実践し、信頼される協会づくりに努める。
- 2, 健全経営の維持のため効率的財政運営に努める。
- 3, 施設の環境整備の充実に努める。
- 4, 人材の育成・確保に努める。
- 5, 働きやすく、やりがいのある職場づくりに努める。

組織図



築いてきた経験、
時代に応える福祉サービス
そして未来への挑戦

協会の取り組み



当協会は、設立からの長年の伝統や歴史を受け継ぎながら、児童福祉を中心に、障害福祉や高齢者福祉と幅広い福祉サービスを行う中で、社会福祉の原点である利用者の立場に立ったやさしさと温かみのある福祉を実践し、「愛される施設」、「親しまれる職員」、「信頼されるサービス」を目指して事業を行っています。

児童福祉事業



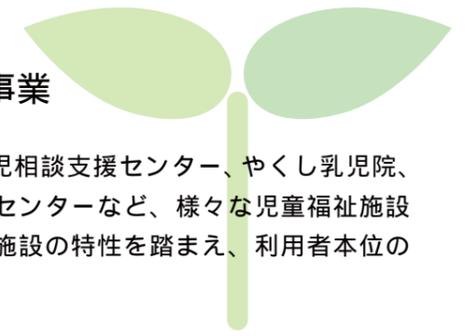
障害福祉事業



高齢者福祉事業



児童福祉事業



子どもの成長を幅広く支援する当協会の中核事業

当協会は、鹿児島市内に 14 保育園、3 障害児通所支援、障害児相談支援センター、やくし乳児院、母子生活支援施設、北部及び西部親子つどいの広場、3 児童センターなど、様々な児童福祉施設を運営しており、施設間での連携を図りながら、それぞれの施設の特性を踏まえ、利用者本位のサービスを提供しています。

保育園の設置・経営

保育の必要な子どもをお預かりし、一人ひとりの個性を大切にしながら、心身ともに健全な成長が図られるように努めるとともに、一時預かり事業、延長保育事業など、時代の要請に応えた取り組みも行っています。

- ・武保育園・鴨池保育園・柳田保育園・田上保育園・玉里保育園・なぎさ保育園
- ・あたご保育園・南林寺保育園・清水保育園・西紫原保育園・薬師保育園
- ・吉野保育園・下伊敷保育園・松原保育園



やくし乳児院の設置・経営

いろいろな事情から、ご家庭で養育できない乳幼児をお預かりして養育する施設です。常に内容の充実を図り、家庭的な雰囲気の中で、心身ともに健全な成長が図られるように努めています。

母子生活支援施設の設置・経営

母子世帯で事情のある方々に入所していただき、自立に向けて、その生活を支援する施設です。母子世帯が抱えるいろいろな問題解決のためのお手伝いをしながら、その福祉の向上に努めています。

児童発達支援・放課後等デイサービスの設置・経営

心身に障害のある児童が保護者といっしょに通園して、基本的な動作や集団生活への適応などの指導や訓練を受ける施設です。医師や理学・作業療法士などの協力を得ながら、子どもたちの懸命な努力を支えています。

- ・わかば園 ・あゆみ ・なかよし園

児童館の運営

児童に健全な遊びを与え、幼児及び少年を個別的、集団的に指導して、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、こども会・母親クラブ等の地域福祉活動の育成助長をはかる等、児童の健全な育成を図ることを目的とする施設です。

- ・城南児童センター・三和児童センター
- ・郡山児童センター



障害児相談支援センターの設置・経営

障害のある児童が障害児通所支援事業等を利用する際に、障害児の心身の状況や環境、障害児または保護者の意向等を踏まえて、利用者に適した福祉サービスやサービスの内容を検討し、障害児支援利用計画等を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う施設です。

児童クラブの運営

就労等により昼間保護者のいない家庭の小学校に就学している児童の健全育成を図るため、放課後の適切な遊びと生活の場を提供します。

- ・城南児童クラブ
- ・南第二児童クラブ

ファミリー・サポート・センターの運営

地域において、育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人が育児の相互援助を行うことにより、仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境づくりや、より多くの人が利用できるようにPR活動に努めています。

親子つどいの広場の運営

子育て中の親とその子どもが気軽につどい、相互に交流する場を提供することにより、子育てに係る不安感等の緩和を図るとともに、地域の子育て支援機能の充実を図ることを目的とした施設です。

- ・北部親子つどいの広場
- ・西部親子つどいの広場

保育園

愛される保育所、親しまれる職員
信頼される保育を目指して

鹿児島市社会事業協会の保育園
一人ひとりの個性を大切にし、家庭的で楽しい保育所

特徴

- ・家庭的で温かみのある保育
- ・一人ひとりの個性や主体性を大切にする保育
- ・法人内児童発達支援施設等との連携による、発達段階に応じた保育
- ・0歳児からの育ちに合わせた安全でおいしい給食

理念

- ・入園児童の心身ともに健やかな育成のため、専門性を高め安全な保育環境の整備及び運営の向上に努めます。
- ・各種の保育事業に取り組み、入園児童、保護者及び地域への社会的責任を果たします。
- ・よりよい「家庭環境」を支援するために、利用される方に対して最善を尽くすことを誇りとします。

保育目標

- 「明るく元気な子ども」
- 「友だちとなかよく遊ぶ子ども」
- 「思いやりのある優しい子ども」
- 「自分で考え創意工夫する子ども」
- 「ねばり強く取り組む子ども」
- 「感じたことや考えたことを表現できる子ども」



このほか、各園において、施設や地域の特色を生かした行事を行っております。

名称	定員	所在地	電話
武 保 育 園	90	〒890-0045 鹿児島市武2丁目28-7	099-254-1984
鴨 池 保 育 園	100	〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目-8-10	099-254-1620
柳 田 保 育 園	110	〒890-0045 鹿児島市武1丁目35-33	099-254-1698
田 上 保 育 園	110	〒890-0034 鹿児島市田上1丁目26-15	099-258-2040
玉 里 保 育 園	110	〒890-0005 鹿児島市下伊敷1丁目11-7	099-222-4664
な ぎ さ 保 育 園	40	〒890-0067 鹿児島市真砂本町25-13	099-253-9592
あ た ご 保 育 園	80	〒890-0005 鹿児島市下伊敷1丁目32-1	099-220-4985

名称	定員	所在地	電話
南 林 寺 保 育 園	40	〒892-0834 鹿児島市南林寺町12-11	099-222-6919
清 水 保 育 園	70	〒892-0802 鹿児島市清水町6-27	099-247-8963
西 紫 原 保 育 園	60	〒890-0082 鹿児島市紫原4丁目37-2	099-257-1084
薬 師 保 育 園	70	〒890-0042 鹿児島市薬師2丁目41-10	099-254-9378
吉 野 保 育 園	60	〒892-0871 鹿児島市吉野町3074	099-244-2115
下 伊 敷 保 育 園	110	〒890-0005 鹿児島市下伊敷2丁目26-10	099-220-8798
松 原 保 育 園	60	〒892-0833 鹿児島市松原町2-24	099-224-3728

児童福祉事業

幅広く、柔軟に
心から頼れるサポートを



乳児院



やくし乳児院

障害児通所支援事業



わかば園



あゆみ

障害児相談支援事業



なかよし園



相談支援センタークローバー

児童館・児童クラブ



鹿児島市城南児童センター・鹿児島市城南児童クラブ



鹿児島市三和児童センター・鹿児島市南第二児童クラブ

ファミリー・サポート・センター



鹿児島市郡山児童センター



鹿児島市ファミリー・サポート・センター

親子つどいの広場



鹿児島市北部親子つどいの広場



鹿児島市西部親子つどいの広場

名称	定員	〒	所在地	電話
やくし乳児院	25	〒890-0042	鹿児島市薬師2丁目41-8	099-257-9426
わかば園	10 10	〒890-0082	鹿児島市紫原4丁目37-5	099-257-1083
あゆみ園	10 10	〒891-0102	鹿児島市星ヶ峯2丁目1-1	099-264-8764
なかよし園	20 20	〒890-0067	鹿児島市真砂本町51-10	099-284-1490
相談支援センタークローバー		〒890-0067	鹿児島市真砂本町51-10	099-206-9333
鹿児島市城南児童センター・鹿児島市城南児童クラブ		〒892-0835	鹿児島市城南町4-19	099-223-0868
鹿児島市三和児童センター・鹿児島市南第二児童クラブ		〒890-0071	鹿児島市三和町21-23	099-255-9915
鹿児島市郡山児童センター		〒891-1105	鹿児島市郡山町39-4	099-298-3144
鹿児島市ファミリー・サポート・センター		〒892-0827	鹿児島市中町4-13 1F	099-226-7855
鹿児島市北部親子つどいの広場		〒892-0871	鹿児島市吉野町3256-1	099-243-3255
鹿児島市西部親子つどいの広場		〒890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目10-3	099-220-1200

障害福祉事業



〒891-0102
鹿児島市星ヶ峯2丁目1-1 TEL: 099-264-8711

鹿児島市知的障害者福祉センター

地域活動支援センターふれあい館 定員 20



鹿児島市知的障害者福祉センター

知的障害者相互のふれあいを深め、生きがいと健康づくりを支援し、知的障害者とその家族の福祉の向上を図ることを目的とする施設です。



地域活動支援センターふれあい館

地域において雇用されることや就労することが困難な在宅障害者の方に対して、創作活動や生産活動をはじめ、機能回復訓練、社会生活適応訓練、入浴等のサービスを提供して、地域社会における自立に必要な支援を適切に行うことを目的とする施設です。

高齢者福祉事業



〒891-0141
鹿児島市谷山中央1丁目5027-3 TEL: 099-267-1396

鹿児島市軽費老人ホーム
谷山荘

定員 38

市内に居住する低所得のお年寄りの方に低額な料金で居室を提供し、併せて日常生活に必要な便宜を供与することを目的とする施設です。

協会のあゆみ

昭和3年

1928

社会事業協会創立
鹿児島市社会課内に鹿児島市社会事業協会を設置。
昭和5年鹿児島実費診療所の設置経営からスタート。



元武保育園

昭和15年 1940

保育施設の運営開始
興亜愛児園を設置。
昭和21年に武保育園に改称。



忘年会の様子

昭和51年 1976

谷山荘の運営開始
鹿児島県唯一の軽費老人ホーム
として開園。定員50名。

世の中の出来事

- 世界恐慌(S4)
- 第二次世界大戦始まる(S14)
- 第二次世界大戦終わる(S20)
- 日本国憲法施行(S22)
- 東京タワー完成(S33)
- 東京オリンピック開催(S39)
- 谷山市と合併し新鹿児島市誕生(S42)
- 大阪万博開催(S45)
- 第27回国民体育大会「太陽国体」開催(S47)



1983

昭和58年

鹿児島市
社会事業協会の
あゆみ発行

上製本 388ページ

パンフレットの作成



平成3年

平成10年(70周年)

世の中の出来事

- 8・6豪雨(H5)
- 阪神淡路大震災(H7)
- 長野オリンピック開催(H10)
- 社会福祉の増進のための社会福祉事業法等の一部を改正する等の法律が成立(H12)(平成15年4月全面施行)・措置費制度から支援費制度へ
- 鹿児島市と周辺5町(吉田・桜島・喜入・松元・郡山)が合併(H16)
- 障害者自立支援法成立(H17)(平成18年4月施行)・利用者本位のサービス体系に再編等

平成18年

2006

鹿児島市立乳児院、軽費老人ホーム谷山荘、知的障害者福祉センターの指定管理者としての指定を受ける



鹿児島市立乳児院

- 昭和3年 11月 鹿児島市社会事業協会創立
- 昭和15年 4月 興亜愛児園(現:武保育園)を設置
- 昭和16年 8月 財団法人鹿児島市社会事業協会に組織変更
- 昭和23年 10月 母子福祉寮を設置
- 昭和27年 5月 社会福祉法人鹿児島市社会事業協会に組織変更
- 昭和31年 4月 鹿児島中央乳児院を設立
- 鴨池保育園の運営を受託
- 昭和32年 12月 鹿児島県母子寮を母子福祉寮に合併
- 昭和34年 4月 鴨池保育園を鹿児島市から譲受
- 昭和43年 4月 柳田保育園を設置
- 昭和45年 4月 田上保育園を設置
- 昭和46年 4月 玉里保育園を設置
- 昭和48年 4月 なぎさ保育園を設置
- 12月 あたご保育園を設置
- 昭和49年 4月 南林寺保育園を設置
- 昭和50年 4月 清水保育園を設置
- 昭和51年 3月 鹿児島中央乳児院を廃止
- 昭和51年 4月 鹿児島市立乳児院の運営を受託
- 西紫原保育園、心身障害児通園施設わかば園の運営を受託
- 軽費老人ホーム谷山荘の運営を受託



昭和41年 武保育園卒園式

- 昭和52年 4月 薬師保育園の運営を受託
- 昭和53年 4月 吉野保育園の運営を受託
- 11月 創立50周年を迎える
- 昭和54年 4月 武保育園・下伊敷保育園の運営を受託
- 昭和55年 4月 松原保育園の運営を受託
- 昭和58年 3月 「鹿児島市社会事業協会のあゆみ」を発行
- 平成10年 4月 母子福祉寮を母子生活支援施設に改称
- 11月 創立70周年を迎える
- 平成12年 11月 知的障害者福祉センターの運営を受託
- 12月 知的障害者デイサービスセンター・心身障害児通園施設あゆみの運営を受託
- 平成13年 4月 ファミリー・サポート・センター事業を受託
- 平成15年 4月 心身障害児通園施設(わかば園・あゆみ)を障害児デイサービスセンター(わかば園・あゆみ)に改称し、協会の設置経営に変更
- 障害児デイサービスセンターなかよし園を設置経営
- 知的障害者デイサービスセンターを協会の設置経営に変更
- 平成18年 4月 鹿児島市立乳児院・軽費老人ホーム谷山荘・知的障害者福祉センターの指定管理者としての指定を受ける
- 10月 障害児デイサービス(わかば園・あゆみ・なかよし園)を児童デイサービスわかば園・あゆみ・なかよし園に改称
- 知的障害者デイサービスセンターを地域活動支援センターふれあい館に改称



昭和58年 田上保育園運動会



平成23年 2011

下伊敷保育園の竣工

下伊敷保育園



薬師保育園・やくし乳児院



なかよしの開館の様子



いしきら開館の様子

平成25年 2013

薬師保育園の竣工

平成26年 2014

やくし乳児院の竣工

北部親子つどいの広場

「なかよしの」の指定管理者としての指定を受ける

平成29年 2017

西部親子つどいの広場

「いしきらら」の指定管理者としての指定を受ける

世の中の出来事

障害者自立支援法等の改正(H22)(平成24年全面施行)

東日本大震災(H23)

障害者総合支援法成立(H24)(平成25年4月施行)

子ども子育て支援新制度(子ども・子育て関連3法)成立(H24)(平成27年4月全面施行)

社会福祉法等の一部を改正する法律成立(H28)(平成30年4月全面施行)・社会福祉法人制度改革

保育所保育指針改定(H29)(平成30年4月施行)



フォトギャラリー
90th Anniversary
PHOTO GALLERY

平成19年 4月 鹿児島市から運営を受託していた6保育所を協会の設置経営に変更(武保育園・西紫原保育園・薬師保育園・吉野保育園・下伊敷保育園・松原保育園)

平成21年 4月 城南児童センター・三和児童センター・郡山児童センターの指定管理者としての指定を受ける

5月 地域福祉館の運営(受託)を鹿児島市社会福祉協議会へ移行

平成22年 10月 ファミリー・サポート・センターにおいて家事支援事業を開始

平成23年 2月 下伊敷保育園の竣工

平成24年 4月 児童デイサービスを児童発達支援に改称(わかば園・あゆみ・なかよし園)

平成25年 2月 鹿児島市立乳児院を協会の設置経営に移行し、やくし乳児院に改称

4月 放課後等デイサービスを設置経営(わかば園・あゆみ・なかよし園)

11月 薬師保育園の竣工

12月 障害児相談支援クローバーを設置・経営

平成26年 1月 やくし乳児院の竣工

7月 北部親子つどいの広場の指定管理者としての指定を受ける

平成29年 4月 西部親子つどいの広場の指定管理者としての指定を受ける

城南児童クラブ・南第二児童クラブの運営を受託

平成30年 3月 母子生活支援施設大規模改修工事竣工

6月 保育イベントを開催

8月~10月 鹿児島市内5地域に分けての保育イベントを開催

11月 創立90周年を迎える

平成30年 2018

保育イベント
「みんなあつまれ子育て広場」開催



イベントの様子

イベントポスター



メッセージ「90周年に寄せて」

「事務局職員としてできること」

創立90周年の記念すべき年を迎えて、協会の歴史の重みを感じると共に、今、ここに自分がいることの幸せ感を味わっています。

私は、平成26年に採用、事務局職員として4年が過ぎ、この間協会の運営の一端や職員の働き方などに一役を担うことに充実した毎日を送っています。

創立100周年に向けて、社会の変化を見据えながら、利用者、そして職員の笑顔のために、事務局職員として何が出来るかを常に考え、これからの日々を積み重ねていきたいと思っています。



事務局総務課 主事 小島 彩

「よりよい子どもの育ちを目指して」

私は、平成15年に保育士として採用され、保育園・療育施設を経て、現在、相談支援専門員として、子どもの育ちに悩みのある保護者の気持ちを受けとめ、個々の子ども達の成長につないでいくことを心がけています。

協会は、「よりよい子どもの育ち」を目指して保育園、施設などの強い横のつながりがあり、また、自分のスキルが活かされる場です。

今後も、社会の動向に目を向けて、自分自身のスキルアップを図り、協会の発展のために努めていきたいと思っています。



クローバー 主任（相談支援専門員） 上山 健太

「食の大切さ」を求めて

私が、栄養士兼調理員として協会に入職して以来、乳児保育開始に合わせてスタートした離乳食や衛生面、安全性の強化、アレルギー対応など、保育園での給食も変化してきました。また、子どもの成長に合わせた食育の充実などが求められ、これらに対応できるよう努めて参りました。

これからも、子ども達が心身共に健康に成長していけるよう「食の大切さ」を追求し、職員や保護者と連携を図りながら努力して参りたいと思います。



鴨池保育園 主任（栄養士兼調理員） 鮫島 朝居

「10年後の自分」

創立90周年という大きな節目の年に、一職員として迎えられることを嬉しく思います。

私は、協会勤続22年目となり振り返ると子どもや保護者、職員など多くの方との良い出会いに恵まれ、その中で、「保育士、そして人としての学びが得られ、今の自分がある」と感じています。

10年後の創立100周年に向け、これまでの出会いに感謝しながら、今度は私が、「誰かにとって良い出会いの人」となれるよう、自己研鑽していきたいと思っています。



玉里保育園 主任（保育士） 林 かおり

「看護師としての子育て支援」

平成3年、協会職員として採用されたものの看護師だった私は、子ども相手に戸惑うことばかりでした。先輩からの指導と、養育等の勉強を重ねてきたことで、子ども達に笑顔で向き合うことができるようになりました。

養育のあり方や子どもとの関わり方は、年々変化しています。

これからも、乳児院の中で子ども達が生活において最大の幸せを感じることができるよう、看護師として専門性を発揮しながら、職員と共に日々考え、支援していきたいと思っています。



やくし乳児院 主幹（看護師） 飯尾 祥子

「今この瞬間を未来への礎に」

協会職員として、また保育士として沢山の出会いに恵まれ多くの学びを頂いたことは、私の人生の宝です。踏いた時には経験豊富な先輩や心一つに支え合った仲間から救って頂き、今の私があります。

子ども達の未来に向けて、保育の重要性を日々考え取り組んでおりますが、道のりは長いと思います。今は未来への過程であり大事な瞬間です。今まで頂いたご恩に感謝し、職員として協会の力となり人の役に立てるよう努力して参ります。



武保育園 園長 松元 直美

「福祉の心を大切に」

昭和3年に創立された歴史ある協会に採用されて40年足らずの私。先輩方は、今の協会をどのように評価されているのでしょうか。「こんなに発展し、安心じゃ」と胸をなでおろしていらっしゃるのではないでしょうか。

協会の発展と共に、自分自身も成長させていただきました。女性の社会進出が著しい現代、今後益々需要が高まる福祉の分野において、先を見通した事業を行い、市民の拠り所となるよう福祉の心を大切にしていきたいと思っています。



柳田保育園 園長 山里 千佳子

「未来の宝」

昭和49年に保育士として採用されて40年、そして退職後も引き続き児童福祉事業において子育て中の親子の支援に努めています。

心身共に健全で笑顔あふれる子ども達の成長を願い、また、子ども達を温かい目で見守っている保護者の方々との出会いの中で様々なことを学びました。私自身人間的にも成長でき、今の自分があると思っています。

これからも「未来の宝」の子ども達のために協会職員が丸となって知恵と力を発揮したいと思っています。



鹿児島市北部親子つどいの広場 館長 中原 裕子



～ 編集後記 ～

90周年記念パンフレットの制作に当たって、過去の記念誌やパンフレット、そして多くの活動の写真に触れる機会に恵まれ、そこには、先人の輝かしい取り組みや鹿児島市の福祉の発展のため尽力してきた大切な思い出が詰まっています。

今回は、その時々にあった出来事を歴史として語り継ぎ、それを「未来への道しるべ」にすることが重要であるとの考えを念頭に置きながら、パンフレットの制作に取り組みました。

私たちは、これまで協会を作り上げてきた先人に感謝し、伝統を守りながら、100周年やその先に向け、地域に根ざし、変化を恐れず新しいことにチャレンジできる協会職員でありたいとの思いを胸に編集後記とさせていただきます。

最後に、このパンフレット発行に際し、寄稿くださった方々やご協力いただいた施設の皆様に深く感謝申し上げます。

（編集委員）原田けい子、横山博、持増力男、隈元瑞樹、中原裕子、上田橋京子、豊留裕子

事務局総務課
平成30年11月



社会福祉法人
鹿児島市社会事業協会

〒892-0816 鹿児島市山下町 15 番 1 号 市民福祉プラザ 3F
TEL 099-226-5222 FAX 099-226-5221

<http://www.ksjk.jp/>

